学校番号	T3009

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　ON! 1(音楽之友社)						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の
　４つの分野を学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや発表で評価します。
・音楽の学習は、実際にやってみて、試してみてこそ感性が豊かになります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。また、創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。
【思考力、判断力、表現力等】
音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】
音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとのかかわり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽などで表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	校歌	ソルフェージュ	a:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 b:歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現の意図をもっている。 c:歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	演奏	演奏 ワークシート	演奏 ワークシート
	合唱	ポピュラーソング	a:親しみやすいポピュラーソングをグループとして合唱することができる。 b:グループで工夫して合唱に取り組む。 c:グループ毎に合唱の練習、発表に前向きに取り組んでいる。	演奏 ワークシート 振り返りシート 発表	演奏 振り返りシート 発表	演奏 ワークシート 振り返りシート 発表
後期	演奏	アンサンブル活動	a:適切な演奏技術を身に付けようとしている。 b:選択した楽器の特徴を活かすために創意工夫を凝らしている。 c:アンサンブルに興味をもち、楽しんで演奏しようと主体的に取り組もうとしている。	演奏 ワークシート 振り返りシート 発表	演奏 振り返りシート 発表	演奏 ワークシート 振り返りシート 発表
	鑑賞	日本の歌 世界の歌	a:日本と世界の歌の共通点や違いに注目し、理解している。 b:日本と世界の歌を形作っている要素を知覚し、どのような表現方法になっているかについて聴いている。 c:日本と世界の音楽を鑑賞し、自分の音楽感覚を伸ばす一助としている。	ワークシート 振り返りシート	ワークシート 振り返りシート	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度